

2015 年春の裏磐梯地下水調査報告

5月16日(土)に恒例の柴崎研究室主催、裏磐梯地下水調査を実施しました。参加者は柴崎、藪崎先生、柴崎研究室大学院生3名、柴崎研究室4年生4名と横尾研究室4年生1名、柴崎研究室を訪問した3年生6名の合計16名でした。調査開始時はあいにくの雨でしたが、途中からあがり予定していたデータ回収を無事に行うことができました。積雪は、昨年より1週間遅い実施だったためかほとんどありませんでした。

まず、2013年11月に磐梯朝日プロジェクトで設置した裏磐梯スキー場地下水観測孔からの水位計データ回収と温度プロファイル測定、水質サンプリング調査を行いました。地下水位と水温は、地下水観測孔設置以来30分間隔で継続してデータを記録しており、年4回記録データを回収して分析を続けています。今回も順調に記録の回収ができました。

つぎに、標高1,112.5mの銅沼でも水位と水温のデータ回収を行いました。例年よりは水位が低かったものの、胴長着用で腰まで浸かったのデータ回収となりました。

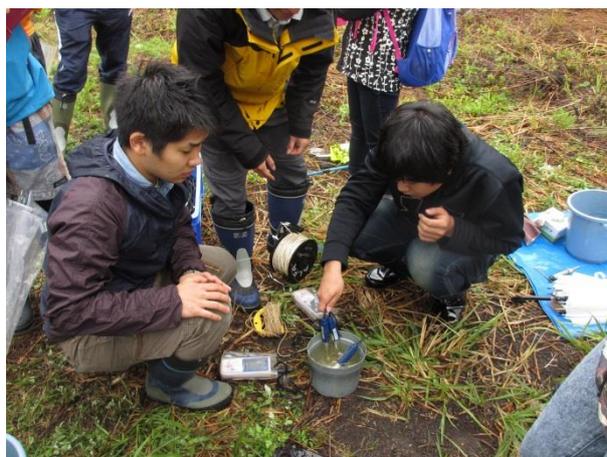
その後、弥六沼、昆沙門沼での自記水位計データの回収と裏磐梯ビジターセンターでの大気圧データ回収を行いました。

今回持ち帰ったデータは研究室で分析し、裏磐梯地域の地下水研究に生かされます。

報告：柴崎



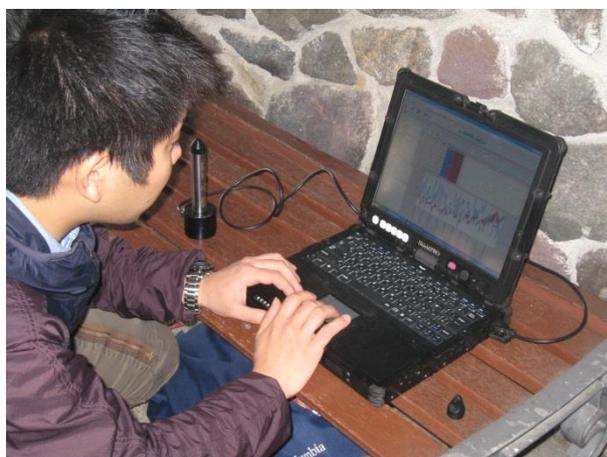
スキー場での水位計のデータ回収



スキー場での水質サンプリング調査



銅沼での水位計データの回収



大気圧データの回収